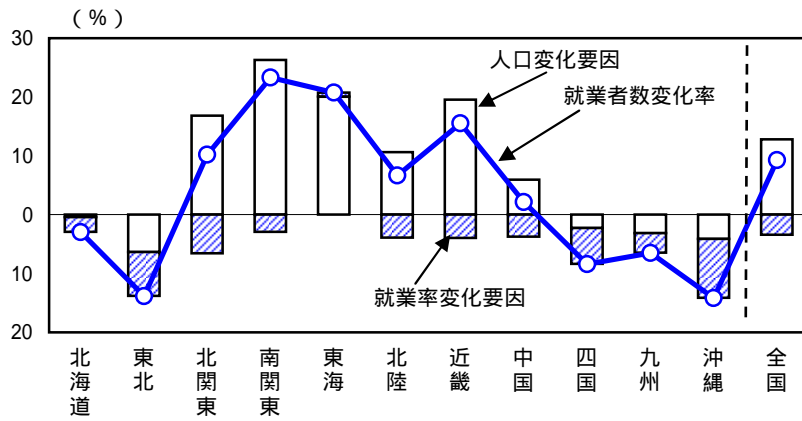
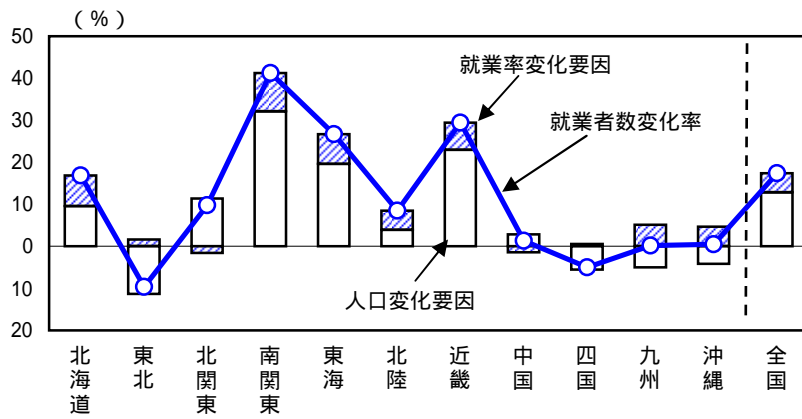


第2 - 2 - 7図 60歳代前半（60-64歳）の就業者数変化率要因分解
（95 - 05年）

(1) 男性



(2) 女性



(備考) 1. 総務省「国勢調査」により作成。

2. 地域区分はA。

3. 要因分解は以下による。

就業者数：E、人口：P、就業率：eとしたとき、 $E = e \times P$ より

$$(\text{就業者数前期差}) = E - e \times P + e \times P$$

両辺をEで除して

$$(\text{就業者数変化率}) = \frac{E - e \times P}{E} + \frac{e \times P}{E} = (\text{就業率変化要因}) + (\text{人口変化要因})$$

4. 労働力状態不詳数は人口に含まない。